

令和三年度 入学試験問題

国語

文・教・経

二月二十六日(金) 一四時一〇分—一五時五五分

注意事項

- 1、試験開始の合図まで、この冊子と答案冊子を開いてはいけない。
- 2、問題冊子のページ数は十一ページである。
- 3、問題冊子とは別に、答案冊子中の答案紙が三枚ある。
- 4、落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつたら、ただちに申し出よ。
- 5、解答にかかる前に答案紙上部の折り目をていねいに切り離し、それぞれ、所定の二箇所を受験番号を記入せよ。
- 6、解答は答案紙の所定の欄に記入せよ。所定の欄以外に書いた解答は無効である。
- 7、問題冊子の余白は草稿用にも使用してもよい。
- 8、試験終了後、退室の許可があるまでは、退室してはいけない。
- 9、答案紙は持ち帰ってはいけない。問題冊子は持ち帰ってもよい。

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

情報通信技術の革新は、あなたを幸せにしてくれただろうか。

パーソナルコンピュータの発明やインターネットの登場、スマートフォンのような情報通信デバイスの普及、さまざまなテクノロジーのおかげで、私たちはいろいろなことができるようになった。とりわけ2000年代以降はiPhoneをはじめとするスマートフォンや、WiFi、4Gのような高速通信環境の普及によって、私たちはいつでもどこでもインターネットに接続し、他人と繋がることができるようになってきている。そのおかげで遠く離れたところにいる人とすぐにコミュニケーションがとれるし、もちろん仕事をすることだってできる。この世界に張り巡らされたネットワークは、あらゆる通信のシェアを可能にし、それによって私たちの知的活動の可能性は広がり、効率も向上した。情報通信技術のおかげで、私たちの生活は豊かになっているのかもしれない。

しかし、それは本当に「幸せ」をもたらしているといえるのだろうか？ たとえば、あなたが肌身離さず持ち歩いているスマートフォンは、常時メッセージや通知を受信することを可能にしたが、その状態は外の世界に注意を払い続けなければいけないことを意味している。他人といつでも連絡が取れる安心感を得ると同時に、私たちの心身は常に緊張し、リラックスすることが困難になっているのだ。加えてSNSや検索エンジンのアルゴリズムは「最適化」の名のもとに偏った情報でユーザーを包み込み、「フィルターバブル」と呼ばれる分断の状況を生んだ。ソーシャルゲームへの依存に伴う過度な課金や、チャットツールなど閉じたコミュニティで発生するいじめ、SNS上での誹謗中傷など、インターネットの発展に伴って生まれた問題はもはや社会全体に大きな影響を及ぼしつつある。

①もしかしたら、私たちは情報通信技術によって「幸せ」から遠ざけられているのだろうか？

こうした問題は、情報通信技術を開発するうえで根源的な目標であった「人間を幸せにすることがきちんと意識されないまま設計が進んでしまったことから生まれたものだといえる。そもそも人間にとって「幸せとは何か」がきちんと検討されてこな

かったからこそ、本来人々を幸せにするはずの技術が人々を抑圧してしまっているのだ。

近年、これらの背景から、「ウェルビーイング (Wellbeing)」という人間の心の豊かさに関する概念が注目されている。たとえば2015年に国連でサイタクされた「SDGs…2030年までの持続可能な開発目標」においてウェルビーイングは重要な達成目標のひとつとして挙げられている。日本においても、2020年に内閣府「ムーンショット型研究開発制度」が発表された2050年までに達成すべき6つの目標において、それらの研究開発は人々のウェルビーイングに向けたものであると明言されている。また、「TIME」や「WIRE」などさまざまなメディアでもウェルビーイングやマインドフルネスがとりあげられる機会が増えており、この概念は一般にも広くシントウ^dしつつかあるといえるだろう。とりわけ情報技術の領域においては近年ウェルビーイングの研究が盛んになりつつあり、ヒューマン・コンピュータ・インタラクティブ (HCI) や人工知能 (AI) (分野のカンファレンスではウェルビーイングに関するセッションが開かれることも増えてきた。日本の学術機関においてもウェルビーイングの名を冠した研究機関が開設されたり、ウェルビーイングと情報技術に関する研究プロジェクトも増えている。遡れば、1990年代から始まった、主張し過ぎない穏やかな情報提示をする「Calm Technology」や、ユーザーの感情を計測し働きかけるための「Affective Computing」のような研究分野とも接続しながら、現在、情報技術と人間の心的側面の関係性に対する関心は非常に高まっている。

企業活動においても、さまざまな分野のCEOもウェルビーイングという言葉をお口にすることが多くなった。現代社会において、すべての問題を効率性や経済性のみによって解決することは困難である。それに代わる、もしくはそれ以外の価値基準としてウェルビーイングという視点がとりあげられている。現在のところ、ウェルビーイングは付加的な概念のひとつに過ぎないかもしれないが、環境問題がそうであったように、遠くない将来、人間のウェルビーイングにハイリヨ^fしない企業や自治体など考えられないという社会が到来するかもしれない。そのときに、「効率性」や「経済性」とは異なる価値基準にそれぞれの企業を取り組み、企業活動を通して社内外で共有されることは、社会的な存在としての企業の価値を向上させるものになるであらう。

②

Welfare

Well-being

③

福祉分野においても、ウェルビーイングは議論の対象となることが多い。近年の福祉理念は、社会的弱者を救うという福祉(ウェルフェア)から、自律的な活動や自己実現をとおしての福祉(ウェルビーイング)へ変化しているといわれている。社会から見たときに、福祉の対象を保護や救済の対象と考えるのではなく、一人の人間としてその充足や自律性を積極的に尊重しようという考えに変わってきたということである。これは、ウェルフェアの視点からつくられたプログラムでは、対象それぞれが持つ固有の状況に対応できないということや、むしろ対象を能動的な主体として捉え、個々のウェルビーイングを起点にすることでより豊かな福祉が実現できるのではないかと考えることによる。もちろん、個人のウェルビーイングだけを考えていては、その社会は成り立たず、ケアを必要とする人とケアをする人を社会全体でどのように包摂^gしていくべきか、福祉におけるウェルビーイングの議論は、超高齢化社会を迎える日本においては大きな課題である。

しかし、ひとくちにウェルビーイングといっても、その意味が見えづらいたしかだ。直訳すると「心身がよい状態」を指すこの言葉は、しばしば「医学的ウェルビーイング」、「快樂的ウェルビーイング」、「持続的ウェルビーイング」という3つの定義で使われている。

ひとつめの「医学的ウェルビーイング」とは、心身の機能が不全でないか、病気でないかを問うものである。これは健康診断やメンタルヘルスに関する診断を通じて測定可能である。ふたつめの「快樂的ウェルビーイング」とは、その瞬間の気分の良し悪しや快／不快といった主観的感情に関するものである。最後の「持続的ウェルビーイング」は、人間が心身の潜在能力をハッキリ^hし、意義を感じ、周囲の人との関係のなかでいきいきと活動している状態を指す包括的な定義である。

これら3つのウェルビーイングは、必ずしもすべてが同時に満たされるわけではない。たとえば課題に取り組んでいるときの一時的な苦しさは **A** 的ウェルビーイングを阻害ⁱするが、その課題を乗り越えることで達成感や有能感を得られるならば **B** 的ウェルビーイングを充足するものだといえる。従来は身心の健康状態で判断できる **C** 的ウェルビーイングや、心拍やホルモン量など生体反応の指標によって計測できる快樂的ウェルビーイングが研究の対象とされてきたが、2000年代に入りその状況は大きく変わった。特に **D** 的ウェルビーイングを対象に、主観指標や行動指標も含め、

包括的・持続的に捉えようとする取り組みが加速し、「Positive Computing」をはじめとする「D 的ウエルビーイング」を情報技術によってソクシンするための方法論が研究され始めている。

このように、ウエルビーイングの研究は近年急速に進んできているが、一方でこれまでの研究の多くはもっぱら「個人主義的」な視点に基づいて進められてきたことに注意せねばなるまい。欧米では主潮となるこの視点は、確立された個人のウエルビーイングを満たすことで社会への貢献を目指すものであるが、それだけでなく、集団のゴールや人間同士の関係性、プロセスのなかで価値をつくりあうという考えに基づく「集産主義的」^{Collectivistic}な視点を無視してはいけないう。人間関係や場のなかでの役割によって生まれる物語性、身振りや手振りや触れ合いといった身体性が人間の行動原理に強い影響を与える日本や東アジアにおいては、とりわけ集産主義的なアプローチがウエルビーイングを考えるうえで重要となってくるはずだ。

個人の身体と心を対象とした欧米型の「わたし」のウエルビーイングからこぼれ落ちてしまった、身体的な共感プロセスや共創的な場における「わたしたち」のウエルビーイングの観点を、日本や東アジアのウエルビーイングに取り組むためには忘れてはならない。もちろん、個人主義的な視点と集産主義的な視点は対立するものではなく、一人の人間のなかに両面が存在し、ウエルビーイングの理解を補完しあうものである。

また、人と人のあいだにウエルビーイングが生じると考える集産主義的な視点を広げると、それは「コミュニティと公共のウエルビーイング」へとつながる。特定の人とのつながりだけでなく、^④利害関係が入り込んだ不特定多数の人が集まるコミュニティや公共の場においてこそ、ウエルビーイングの観点が必要になるであろう。そして、不特定多数の人と人が交わる場合は、インターネットの空間にも存在し、同様に「インターネットのウエルビーイング」も存在するはずである。

個人の心のなか、人と人のあいだ、コミュニティや社会、そしてネットのなか、とこれらの領域は独立しながらも影響しあっており、そのすべてを捉えなければウエルビーイングの総体を捉えることはできない。私たちがいま取り組むべきは、ウエルビーイングの「解像度」を上げることであり、ウエルビーイングとはいったい何なのかを整理しなおすことだろう。これらの領域にまたがったウエルビーイングを整理していくことでこそ、「わたし」や「わたしたち」としてのウエルビーイングとは何

なのか、どうやってウエルビーイングを実現していくのか、そこへの道のりが見えてくるはずだ。

(渡邊淳司、ドミニク・チェン監修・編著『わたしたちのウエルビーイングをつくりあうために』所収、安藤英由樹、渡邊淳司「ウエルビーイングの見取り図」による)

【注】 ○アルゴリズム——問題を解決する定型的な手順・計算方法。

○フィルターバブル——インターネットで利用者の好む情報ばかりが選択的に提示されることによって、好ましい情報しか見えなくなってしまうこと。これによって社会的分断が進行するとされる。

○CEO——企業の最高経営責任者。

○マインドフルネス——めい想などを利用して心を整える方法。また、その整った心の状態。

問一 傍線部 a、j のカタカナは漢字に、漢字は読みをカタカナに、それぞれ改めよ。

問二 傍線部①「もしかしたら、私たちは情報通信技術によって「幸せ」から遠ざけられているのだろうか？」とあるが、筆者がそのような理由を本文に即して八〇字以内(句読点・かっこ類も字数に含める)で説明せよ。

問三 傍線部②「福祉(ウエルフェア)」と傍線部③「福祉(ウエルビーイング)」の違いについて、本文に即して一一〇字以内(句読点・かっこ類も字数に含める)でまとめよ。

問四 空欄A～Dに入れるのに最適な語を、次のア～ウから選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上使ってもよい。

ア 医学

イ 快楽

ウ 持続

問五 傍線部④「利害関係が入りくんだ不特定多数の人が集まるコミュニティや公共の場においてこそ、ウェルビーイングの観点が必要になる」とあるが、ここでいう「ウェルビーイング」とはどのようなものか。「個人主義的」「集産主義的」の二つの用語を用いながら、本文に即して一一〇字以内(句読点・かっこ類も字数に含める)で説明せよ。

問六 傍線部⑤「ウェルビーイングの「解像度」を上げること」とあるが、それはどういうことか。次に示した「解像度」の定義を参照しながら、本文中の事例を参考に、四五字以内(句読点・かっこ類も字数に含める)で説明せよ。

カメラ、テレビ画面、コンピュータのディスプレイやプリンターなどで、表示できる画像や文字の精細さの度合い。

〔精選版 日本国語大辞典〕

二

次の文章は、『蜻蛉日記』中巻の一節である。作者の夫、兼家の来訪は途絶えがちになっている。これを読んで、後の間に答えよ。

かくて四月になりぬ。十日よりしも、また五月十日ばかりまで、「いとあやしく悩ましき心地になむある」とて、例のやうにもあらで、七八日のほどにて、「念じてなむ。おほつかなきに」など言ひて、「夜のほどにてもあれば。かく苦しうてなむ。内裏へも参らねば、かくありきけりと見えむも便なかるべし」とて、帰りなどせし人、おこたりてと聞くに、待つほど過ぐる心地す。あやしと、人知れず今宵をこころみむと思ふほどに、はては消息だになくて久しくなりぬ。めづらかにあやしと思へど、つれなしをつくりわたるに、夜は世界の車の声に胸うちつぶれつつ、時々は寝入りて、明けにけるはと思ふにぞ、ましてあさましき。幼き人通ひつつ聞けど、さるはなでふこともなかなり。「いかにぞ」とだに問ひ触れざなり。まして、これよりは、なにせむにかは、あやしともものせむと思ひつつ、暮らし明かして、格子など上ぐるに、見出だしたれば、夜、雨の降りける気色にて、木ども露かかりたり。見るままにおほゆるやう、

(A)夜のうちはまつにも露はかかりけり明くれば消ゆるものをこそ思へ

かくて経るほどに、その月のつごもりに、「小野の宮の大臣おとどかくれ給ひぬ」とて世は騒ぐ。ありありて、「世の中いと騒がしかなれば、つつしむとて、えものせぬなり。服かぶになりぬるを、これら、とくして」とはあるものか。いとあさましければ、「このごろ、ものする者ども里にてなむ」とて返しつ。これにまして心やましきさまにて、たえて言づてもなし。さながら六月になりぬ。かくて数ふれば、夜見ぬことは三十余日、昼見ぬことは四十余日になりけり。いとにはかにあやしと言へばおろかなり。心もゆかぬ世とは言ひながら、まだいとかかる目は見ざりつれば、見る人々もあやしうめづらかなりと思ひたり。ものしおほえねば、ながめのみぞせらるる。人目もいと恥づかしうおほえて、落つる涙おしかへしつつ、臥して聞けば、鶯ぞ折へて鳴くにつけて、おほゆるやう、

(B)鶯も期まもなきものや思ふらむみなつきはてぬ音をぞなくなる

【注】 ○帰りなどせし人——兼家をさす。 ○幼き人通ひつつ——「幼き人」は、作者と兼家の子、道綱をさす。父兼家の

もとに通っている。 ○小野の宮の大臣——藤原実頼。兼家の伯父。 ○服——喪に服すこと。伯父の場合は三

ヶ月。 ○これら、とくして——これらの衣服を早く仕立ててくれ、の意。 ○ものする者ども——侍女たち。

後の「見る人々」も同じ。 ○折はへて——時節を長引かせて。 ○期もなき——終わりのない。

問一 傍線部ア～ウを、適宜語句を補い、わかりやすく現代語訳せよ。

問二 波線部「つれなしをくましてあさましき」からうかがわれる、作者の心情について説明せよ。

問三 和歌(A)および(B)を、掛詞や比喻に注意してわかりやすく現代語訳せよ。

次の文章を読んで、後の問に答えよ。但し設問の關係で送り仮名を省いた部分がある。

昔唐、韓愈氏、以荀子書為大醇小疵。逮宋攻者益衆。推其由、以言性惡故。余謂、性惡之說、非荀子本意也。其言曰、直木不待隳栝而直者、其性直也。枸木必待隳栝烝矯然後直者、以其性不直也。今人性惡、必待聖王之治、禮儀之化、然後皆出於治、合於善也。夫使荀子而不知人性有善惡、則不知木性有枸直矣。然而其言如此、豈真不知性邪。余因以悲荀子遭世大乱、民胥泯、感激而出此也。荀子論學論治、皆以禮為宗、反復推詳、務明其指趣。為千古脩道立教、所莫能外。其曰倫類不通、不足謂善學、又曰一物失稱、乱之端也、探聖門一貫之精、洞古今成敗之故。

(王先謙「荀子集解序」による)

【語注】

- 大醇——最も純粹なこと。 ○小疵——わずかな欠点。 ○直木——まっすぐな木。
○櫟栝——曲がったものを伸ばす道具。 ○枸木——曲がった木。 ○烝矯——蒸しやわらげて矯正する。
○泯棼——混乱。 ○感激——深く心に感じて奮い起つこと。 ○推詳——深く追究する。
○倫類——人倫の種類。 ○倫類不通不足謂善学——『荀子』勸学篇の文章。
○一物失称乱之端也——『荀子』正論篇の文章。 ○聖門——孔子の門下。

問一 波線部 a「益」b「然後」c「莫」の読みを、それぞれひらがなで記せ。

問二 傍線部 1「以_二荀子書_一為_二大醇小疵_一」を、書き下し文にせよ。

問三 傍線部 2「直木不_レ待_二櫟栝_一而直者、其性直也」を、現代語訳せよ。

問四 傍線部 3「夫使荀子而不_レ知_二人性有_二善惡_一、則不_レ知_二木性有_二枸直_一矣」を、現代語訳せよ。

問五 傍線部 4「豈真不_レ知_レ性邪」を、書き下し文にせよ。

問六 傍線部 5「余因以悲_レ荀子遭_二世大乱_一、民胥泯棼、感激而出_レ此也」を、書き下し文にせよ。

問七 二重傍線部について、筆者は荀子をどのように評価しているのか、本文の内容に即して一五〇字以内(句読点も字数に

含める)で説明せよ。

